

ずぼんぼ

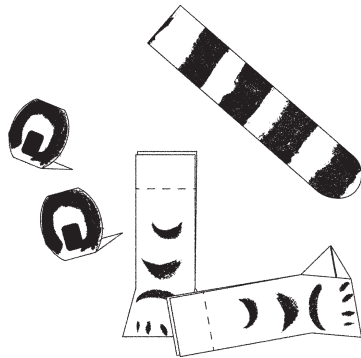
風をうけてふわふわ舞いあがる「ずぼんぼ」は江戸時代から伝わる素朴な玩具です。かつては和紙で体をつくり、足の重しには蜆貝を使ったのだとか。子どもの健やかな成長を願う端午の節供にあわせ昔ながらの玩具をご用意しました。

作り方

ハサミ、のり、クリップ、うちわをご用意ください。

1. 線に沿ってハサミでパーツを切ります。
2. 点線を折ります。
3. それぞれのパーツを組み立てます。みみ、しっぽ、あしは裏面にのりを塗って貼り合わせます。
4. できたパーツを体のパーツに貼り付けます。あしはからだの内面、みみは★を、しっぽは★を目印に貼ります。

3. それぞれのパーツを組み立てます。みみ、しっぽ、あしは裏面にのりを塗って貼り合わせます。



5. あしの裏に重しのクリップを挟めばできあがり。



部屋の隅にずぼんぼを置いてうちわで上下にあおいで遊びます。ずぼんぼの下から風が入ってふわふわ踊るように浮かびあがります。風の強弱やおおぐ方向・角度を変えて、いろいろな動きを試してみてくださいね。

きりとりせん

やまおりせん

たにおりせん

のりしろ

*

みみ



しっぽ



からだ



むね



まえあし

うしろあし

たね也